

早稲田大学 人間科学部 英語 講評

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	大問3題は例年通り。設問形式も変わっていない。〔Ⅰ〕に関しては、英文の総語数はほぼ昨年のままで、英文の内容、設問の難易度は昨年より取り組みやすくなったと思われる。ただ、相変わらず悩ましい選択肢が多く、正解を導くのは結構大変だ。〔Ⅱ〕に関しては、ここ数年異常なほど難しかったが、昨年、今年と少しずつやさしくなってきたと思われる。ただ、難問も結構散見されるのは相変わらずだ。〔Ⅲ〕に関しては、昨年並みの難易度か。ただ、正誤問題なので、正解を出すのはなかなか大変だ。意外と文法などがすっぽり意識から抜けて、見抜けないこともあるのが正誤問題だ。レベル的にも良問に近い問題と思われる。総合的には〔Ⅰ〕と〔Ⅱ〕が易化した分、昨年より解きやすくなったと言えよう。ここ最近〔Ⅱ〕が難しくすぎであり差がつかず、読解の〔Ⅰ〕の出来が合否に左右したと思われるが、今年度は〔Ⅱ〕の出来具合も重要だったのではなかろうか。6割強が合格最低点だと考える。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅰ〕	英文読解問題	比較的短い8題の読解問題。例年通りだ。分量は昨年のまま、レベルは昨年より若干下がったと言えそうだ。今年度は昨年度とは違い自然科学系が社会科学系より多かった。人文科学系は相変わらず出題されないのは何か信念などがあるのだろうか？ 設問はすべて内容を問う問題で、What や How、Why など始まる疑問文に対して正解選択肢を選ばせる問題。たとえば、How なら「方法」を表す単語を意識する。Why なら because や since、to 不定詞「～するために」を探すのも重要なプロセスだ。今年度は All of the above、None of the above、Not enough information given の選択肢が非常に多かった。この種の選択肢が多いということは、他の選択肢をすべてしっかり検討してみないといけないわけで、時間がかかる設問ということになる。リードの部分に What is the main idea of this passage? や What is the best title for this passage? が多いのも特徴だ。専門的な内容の英文が多く、知らない単語もかなりあるだろうが、細部にはこだわらず、いかに要旨をとらえるかがカギとなろう。解く者の宿命だが、あまり正解にこだわると時間がどんどん過ぎていく。時間配分をしっかり頭に叩き込んでおきたいものだ。本当に紛らわしく正解を出すのに困る問題もあるので、3割強は落としても仕方ないと思って取り組もう。	やや難
〔Ⅱ〕	空所補充問題	前置詞を入れさせる空所補充問題。今年度は昨年に比べて易化した。それでも得点しにくい大問だ。今年も熟語を問うものが多かった。30、32、33、35、37、40は難問。たとえば、You'll always have a good friend in me. という表現や verbatim の使い方、set one's sights on ～、pull out of ～、with the best of them の熟語を知っている受験生はほとんどいないであろう。27、38、39あたりもかなり難しい。run into ～で「～にぶつかる」の意味がある。逆に 26、28、31、34、36あたりは基本に属すると言っていいだろう。run out of ～「～が不足する」、face ～「～に直面する」、bother ～「～を悩ます」、succeed in ～「～に成功する」、a handful of ～「少しの～」は知らないといけない。今年度の NO WORD は3、昨年は1、一昨年も1だった。最近1が定着していたが、今年度は3と例年に比べても多かった。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅲ〕	正誤問題	<p>難易度は昨年並みだろう。下線が引かれている部分は動詞関係が多いが、今年度は正解選択肢も動詞関係が多かった。正解箇所として狙われたところは、他動詞の enjoy、the United States で the が必要、I promise (that) ～の～には will が必要、As her mother「彼女の母親として」と Like her mother「彼女の母親同様」の違い、時や条件を表す副詞節の話、there is 構文で意味を成すかどうか、仮定法過去完了形の if 節に would have + 過去分詞が可能かどうか、housework は可算名詞か不可算名詞か、がポイントであった。難しいものもあるが、総合的には良問と言っていいだろう。NO ERROR は例年通り 2 つ。昔よりやさしくなったとはいえ、やはり正解を出すのは結構大変だ。見抜く力を根気強くつけないとなかなか解けない設問だ。44は be busy (in) ～ing にしないといけないと思ってしまった受験生も多いのではなかろうか。46の As her mother のどこがおかしいか見えるのはなかなか大変。48の there is a cold part of America も間違いを見抜くのは意外と難しい。受験生もそう簡単には正解できない大問なので、6 問程度の正解を目指そう！</p>	標準